

巻 頭 言

聖泉大学 学長
看護学部 学部長

筒 井 裕 子



聖泉大学看護学部が発足し2年が経過しました。

当学部では学術雑誌を初年度から発刊し、教育・研究の質の向上にと第2巻の発刊となりました。

その間、学術誌編集委員の方々には、学部発足から2年目に当たり、大学の組織、2学部体制など、全員で創っていく作業もあり、また、外部査読者への依頼や校正、編集など多くの作業がある中、今回の発刊はことのほか嬉しく感謝申し上げます。

さて近年、高齢・少子化と医療の進歩などにより、保健医療の現場では、多様化するニーズに応えるために専門性を駆使し、特に住民・患者の傍にいる看護職がそのニーズを分析、問題点を焦点化できる能力が求められます。看護学はどのような健康状態にある人にも、その人らしく生活できることを支える学問です。従って、看護職の担う領域は拡大しつつあり、この現状から、看護学の発展が大いに期待されるところです。

看護学を発展させるための研究は、人間の感性や行動を観察し、分析し、洞察力を磨いて質の高い研究へと発展させて頂きたいと考えます。

また、本学にはキャリアアップセンターがあり、地域の看護職の方々と看護の質をより高めるために学習の場を設けております。

この場を活用し、聖泉看護学研究に、いずれは当学部の教員と共同研究した論文を掲載し、実践に生かし、看護がさらに発展することを願っております。

今後とも、当学部の発展にご支援賜りますようお願い申し上げます。

